

科目担当者氏名		科目担当者連絡先(メールアドレス)	
(ふりがな) つしま みちひと 対馬 路人			
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
(ふりがな) みうら こうきちろう 三浦 耕吉郎		関西学院大学社会学部	
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
社会調査実習 I	<SGa-080704-0	6	

I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：学生は調査地域や調査対象の選定に参加するとともに、現地調査に参加した。現地調査では、施設の見学、行事の参与観察、関係者からの聞き取り、関係者との質疑応答、現地資料の収集に従事した。現地調査終了後、参加者はそれぞれ割り当てられた調査対象について調査報告を行うとともに、調査レポートをまとめた。今回は中国および沖縄を調査地としたが、中国調査では中国嘉應大学の日本人教員を通訳者として同道したことで、調査対象との折衝や聞き取りをスムーズに行うことができた。参加した学生は少数であったが、それぞれ積極的に調査に関わった。

II. 調査の企画・設計(デザイン)

1 調査のテーマ/領域：東アジア現代社会における宗教の動態—外来宗教の流入、定着と伝統宗教の変容—

2. 調査の内容/概要：グローバル化の進展に東アジア地域間での宗教の移転も頻繁になりつつある。今回の調査では、中国(及び香港)と沖縄をフィールドとして、日本(本土)から進出した宗教が、どのように現地に定着してゆくのかについて調査を試みた。また、東アジアのそれぞれの社会は急激な社会、文化変動を体験しているが、それぞれの土着の宗教文化はどのようにそれに対応しようとしているのかについても調査した。

3. 調査の範囲/対象(量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入)：ここ数年、東アジア地域の宗教調査として、日本本土を初め、沖縄、台湾、ベトナムなどの現地調査を行ってきたが、その流れで今回は中国および沖縄を対象とした。中国については宗教に関する現地調査は必ずしも容易でなく、これまで調査実習を控えてきたが、今回は現地で宗教民俗の研究をしている日本人研究者の全面的な協力を得られることで、実習に踏み切った。

4. 主な調査項目：日本から進出した宗教については、それぞれの宗教(団体)の現地進出の経緯、現地での宗教活動や社会活動、現地信者のリクルートや組織化、信者の社会的性格や入会動機など、現地の宗教(文化)については、その活動の現状、人々の受容の様態、伝統の現代的変容などについて、観察、参与観察、聞き取り、文献やネット資料を通して実態の把握に努めた。

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集(現地調査)の方法：事前の文献資料、ネット情報の収集・分析をもとに、現地での礼拝や巫儀などの観察、および参与観察、それらの一部の映像への収録、関係者からの聞き取りや質疑応答、現地関係資料類の収集を実施した。また現地研究者へのインタビューを通して、全体的な情報提供も受けた。

6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：中国を対象とした本調査は2008年9月16日から9月22日まで、香港および広東省梅州市で行った。学生の調査員は3名。沖縄調査は、2008年11月29日から12月3日まで、那覇市およびその周辺地域でおこなった、学生の調査員は3名。

7. 収集したデータの量と質への評価(量的調査の場合は有効回収票数及び回収率を必ず記入)：中国調査では現地の日本人研究者を案内役、通訳として同道し、また現地の事情に精通したインフォーマントの全面的な協力を得たので、外国での調査ではあったが、比較的密度の濃い調査が出来た。また、立込んだスケジュールであったが、調整が奏功し、現地調査を効率的にこなすことが出来た。沖縄調査では、参与観察の機会を多く持つことができ、短期調査ではあるが比較的深い調査ができた。

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析/解釈の方法：当該テーマや調査対象に関する既存の研究成果やデータ、入手した文献資料やネット情報から得られる知見、関係者からの聞き取りから得られた知見、参与観察に基づく知見などを総合して分析、解釈する。

9. 調査の成果(調査から得られた主な知見など)：改革開放後の現代中国における諸宗教の状況について、具体的な情報は乏しかったが、今回の調査で宗教復興の諸相について実態に即した理解を深めることが出来た。香港での自由な宗教活動に比較して、大陸では様々な宗教活動の規制があるが、その中で、あるいはその裏をかいて、いかに宗教活動の展開を図るか、それぞれの様々な模索、工夫の努力を垣間見ることができた。沖縄調査では、本土から進出している宗教がそれぞれユニークな社会貢献活動を行いながら、現地社会での定着を目指している様態が観察でき、刺激的であった。

10. 報告書刊行の予定と概要：調査対象となった宗教現象や宗教団体の現状についてまとめた、学生による調査報告書の作成を行った